



感謝の気持ちを大切に!

高上川学童軟式野球連盟会長 堀 博志さん(60)
(落合町阿部)

平成12年から、高上川学童軟式野球連盟の会長として少年野球の発展に尽力されています。

現在連盟には8チームが加盟。連盟が主催する大会は年間10の都度抽選会の開催、試合会場の確保、大会資料の作成、また試合の審判と、運営していく苦は並大抵ではありません。

こうした堀さんの活動を支えるのは、同連盟事務局長で旧知の高田勝美さん。地元の子どもたちが日ごろ本格的な野球場で試合ができるのは会長をはじめとする役員の方々のおかげなのです。

「監督や育成会、地域の人たちの支えがあるから、大好きな野球がいつもできるんだ」という感謝の気持ちを忘れずに野球に励んでほしい。また野球



を通じて、努力すれば自分の目標に近づくことができるんだということや、学んでほしい。これからの受験勉強や、社会人になったときに必ず役立つから。努力して立派な人間に育ってほしい」と話す堀さんの目は輝いていました。

5月3日〜4日には、全日本学童軟式野球大会の高梁地区予選が行われ、成羽野球スポーツ少年団が優勝し、岡山県選手権大会出場を決めました。

「成羽野球スポーツ少年団には、連盟の代表として誇りを持って精一杯戦って、全国大会出場を目指してほし

い。皆さんもぜひ野球場に足を運んで子どもたちに大きな声援を送ってください。それから、一人でも多くの子どもたちに野球を始めてほしいと願っていますし、やはり何といたって私たちの夢は、この高上川学童軟式野球連盟から平松政次さん以来のプロ野球選手が誕生してくれること」と話してくれました。

第28回全日本学童軟式野球大会岡山県選手権大会

▽日時：5月31日(土)、6月1日(日)、8日(月)

▽場所：総社市民球場



「しまつていこうぜー」
子どもたちがグラウンドで発する掛け声を聞くのが大好きだと語るのは、高上川学童軟式野球連盟(旧高梁市、旧上房郡、旧川上郡の地域で組織)の会長・堀博志さんです。
堀さんと少年野球のつきあいは堀さんの長男が落合少年野球スポーツ少年団に入団した昭和59年のときから。当時は少年団の育成会長も務めました。また、3人の息子さんが小学校卒業後も、同少年団の団長や監督を務め、平成9年には監督として岡山県大会で見事優勝も果たしています。

応援よろしくお願いします!

学園だより

3月19日、高梁学園国際交流会館で「平成19年度吉備国際大学スポーツ優秀団体・選手表彰式」を行いました。これは、本大学の学生が世界大会や全国大会に出場し、好成績を収めたこと、また吉備国際大学の名を全国にアピールした功績をたたえて、毎年、学長より表彰するものです。

平成19年も数多くの個人・団体が中国大会を勝ち抜き、全国大会へ出場しました。女子サッカー部を中心に、世界大会で活躍する選手を送り出すこともできました。今年も“吉備国スポーツ”が全国で活躍できるよう、昨年以上に頑張ります!

市民の皆さん、応援よろしくお願ひします。

■問い合わせ 高梁学園入試広報室
(フリーダイヤル0120-25-9944)



最優秀スポーツ賞〈世界大会出場・全国大会優勝者対象〉

女子サッカー部	U-19 (FIFA U-20 女子ワールドカップ) チリ大会予選…準優勝 (日本代表選手3人選出) ユニバーシアード競技大会…9位 (日本代表選手2人出場)
弓道部	全日本弓道遠の選手権大会個人…優勝
インラインスケート (個人)	アジア大会…優勝

スポーツ優秀賞〈全国大会3位内対象〉

少林寺拳法部	少林寺拳法全日本学生大会…優良賞
女子サッカー部	国体岡山県代表…ベスト4 (国体選手6人選出)
空手 (個人)	全日本錬心館空手道選手権大会…準優勝

スポーツ功労賞〈全国大会出場者対象〉

女子サッカー部、ソフトテニス部、体操競技部、弓道部、剣道部、アーチェリー部、少林寺拳法部、サッカー部、水泳 (個人)

編集後記

表紙の写真は、このところ「高梁ならではの風景を題材にしています。今月は田植えを終えた棚田を取り上げました。中山間地の高梁なので、あちこちに棚田があるように思われますが、ほ場整備されているところが多く、未整備のところは耕作されず荒れた田んぼになっています。意外にも棚田は少ないのです。

表紙の中井町柴倉前地区も、以前と比べたら作付けしている田が少なくなつたと聞きました。が、美しい棚田が広がっていました。

田植え機で植えた後に「後植え」していたおはあちゃんに話を伺ったところ「もつたいねえけえ端まで植えとる。この田んぼに何ほ肥えがいるか、頭にちゃん入とります」と頼もしく話してくれました。

最近、「限界集落」といった言葉を耳にしますが、そこには「元気なお年寄りが大勢暮らしていらつしゃいます。

今回の写真撮影では、私も元気をもらったよいうな気分になさせていただきました。

(N・K)

まちの伝言板

神楽の里でホタルまつり



福地ホタルまつり実行委員会
委員長 赤木哲郎さん(53)

落合町福地の福地川は6月に入るとゲンジボタルが舞い始め、毎年、市内外から多くの見物客やカメラマンが訪れます。恒例の「神楽の里でホタルまつり」が、今年も福地小学校グラウンドを会場に開かれます。まつりは地区の各種団体で組織する実行委員会で運営されており、今回で21回目。ホタルが活発に舞い始める午後8時からホタル鑑賞会が行われます。

また、この地区は備中神楽の基礎を確立した西林国橋の生誕地であることから、鑑賞会に先立つて福地神楽保存会による備中神楽の上演が行われます。このほか、山菜おこわやうどん、バーベキュー、新鮮野菜などの販売もあります。

「闇に包まれた川面にホタルの淡い光が無数に広がる様子は本当に見応えがあります。会場で神楽とホタルの競演をお楽しみください」と委員長の赤木さん。

※詳細は次のとおりです。

▽日時：6月7日(土) 午後6時30分から(少雨決行)

▽会場：福地小学校グラウンド

■問い合わせ (社)高梁市観光協会(☎0461)